

DPUB2

モンゴル国

障害者就労支援制度

構築プロジェクト

DPUB2 ニュースレター

No. 13
2023年2月

1. 本邦研修を開催しました



日本へ出発する前の本邦研修参加者の皆さん

2月8日から2月19日までの12日間、モンゴル人行政官・NGO・企業・ジョブコーチトレーナーで構成された研修員17名と介助者がDPUB本邦研修に参加しました。昨年度の本邦研修は、オンラインでの開催でしたが、入国制限が緩和され、今年度は日本視察が叶いました。

研修員は日本の障害者就労支援制度を学ぶとともに、障害者の就労現場を視察し、支援機関の役割や各機関の連携方法、支援方法のノウハウ等を学び、帰国後、共にモンゴルの障害者就労支援サービスの改善を目指します。

(*ジョブコーチトレーナー研修員は2月24日まで滞在)。

2. DPUB2スタッフMs. Munkhtuulの研修報告： JICA課題別研修「障害者就労促進」

ニュースレター1月号でもご報告しましたが、2023年1月12日～2月3日にJICA中部で課題別研修「障害者就労促進」が実施されDPUB2スタッフのMs. Munkhtuulも参加しましたので、引き続き詳細をご報告します。

研修前半、参加者は日本の障害者雇用法や就労支援サービスについて主に講義を通して学びました。研修後半、名古屋市内で重度障害者の雇用就労を支援する「NPO法人わっぱの会」、「ソーネOZONE」、「AJUわだちコンピュータハウス」、「小牧ワイナリー」を視察し、知的障害者や精神障害者の雇用管理の実践方法への理解を深めました。



AJUわだちコンピュータハウスでは、重度障害者によるウェブデザイン、ITサポートサービスの業務を視察しました

名古屋はサービス業や自動車機械製造業が盛んな大都市です。市内の障害者団体、民間企業、政府が一丸となって障害者雇用の実現に努めることで、雇用率の達成だけでなく、障害者雇用の定着と社会参加促進にも大きく寄与していることが分かりました。



ソーネOZONEは、地域で暮らす障害者の生活と活動を支えています

目次

1 本邦研修を開催しました

2 DPUB2スタッフMs. Munkhtuulの研修報告：JICA課題別研修「障害者就労促進」

3 DPUB2スタッフMs. Munkhtuulの研修報告 #1：トヨタグループ株式会社」の取り組み

3. DPUB2スタッフMs. Munkhtuulの研修報告 #1 : 「トヨタグループ株式会社」の取り組み



トヨタ会館ミュージアムを訪問時の集合写真

「トヨタグループ株式会社」の視察報告をいたします。

同株式会社は、トヨタ自動車株式会社の特例子会社で、重度の身体障害、知的障害、精神障害のある職員が、印刷やメール便の受発信、カタログ発送等の業務を行っています。

知的障害のある職員にとっても分かりやすく、失敗をしないよう整理された業務工程が印象に残りました。なお、私と同研修に参加したMs. Batchimegは車いすを利用する当事者であり、モンゴルで企業啓発研修を実施しています。

同社の障害当事者社員が障害のない職員に向けて実施する「Barrier-Free Mental Training」という企業啓発研修の内容は大変参考になりました。同社業務部長の清水部長が、「業務を新たに創出するには、新しい発想と相互理解の促進が不可欠です」と教えて下さいました。

モンゴル帰国後、企業を訪問し、啓発研修を積極的に実施し、障害のある職員と同僚の相互理解促進に貢献したい、との思いを強くしました。次のニュースレターでは、中小企業の事例をご紹介します。どうぞお楽しみに！



作業中の知的障害のある職員



車いす利用者を前提とする世界を健常者が体感するゾーン

✉ dpub.jica@gmail.com

📍 The Ministry of Labor and Social Protection, 4th khoroov, Chingeltei district, United Nation's street-5, Ulaanbaatar 15160, Mongolia

📘 <https://www.facebook.com/jicadpub1and2>

🌐 <https://www.jica.go.jp/project/mongolia/030/index.html>

